

## 東京都の福祉保健行政への意見・要望等（自由意見）

東京都の福祉保健行政への意見や要望等について、自由に書いてもらったところ、555人（「特になし」は除く。）から要望や意見が寄せられた。

内容は極めて多岐にわたっており、紙面の都合上全てを掲載することはできないが、意見の趣旨を損なわないように配慮しながら意見をまとめ、掲載した。

主な意見・要望の内訳（単位＝件）

内 容		件 数
1	福祉のまちづくり	160
	ハード面の整備	85
	ソフト面の整備（心のバリアフリーなど）	75
2	子供	78
3	障害者	52
4	高齢者	66
5	生活福祉（福祉人材、生活保護、民生委員など）	72
6	医療・健康	29
7	福祉保健一般	33
8	都政一般	120
9	本調査に関するもの	110
10	その他	30
合 計		750

※ お一人で複数の内容についてご意見・要望を記入いただいた場合は、内容ごとに集計している。

主な要望・意見は以下のとおりである。

## 1 福祉のまちづくり（ハード面、ソフト面）

- ・ 子どもが産まれてベビーカー移動を初めて経験しました。公共交通施設の不便さや、トイレの不便さを身を持って経験しました。子供は抱っこすればどうにかになりますが、車イスの人のことを考えると、本当に大変だと思います。まずは全ての駅の全ての入り口、出口（A1、A2、A3 出口全部に）にエレベーターの設置をするなど（いつもエレベーターの出口が目的地と反対のため、沢山歩かなければならない）。福祉保健行政の方も、一度ベビーカーや車イスでの生活を体験してもらって、不便さを体験してもらいたいです。外出するのが嫌になります。（20代女性）
- ・ 高速道路のサービスエリア、新設のショッピングモール等では誰でもトイレの設置が促進されています。中には大人のオムツ交換ができる簡易ベッドを備えているものもあり大変便利になってきました。ただ時折、順番を待っていたら健常者が出て来る事があり、誰でもですから仕方ないとも思いますが本当に必要な人が優先的に利用できるような啓蒙も必要ではないでしょうか（障害者用駐車スペースについても同様の印象があります）。地下鉄の場合、ホームから改札階までの整備は進んでいるようですが、地上までの部分がまだ不足しているようです。また場所の制約があるのでしょうか、改札からエレベーターまでの距離が大変遠い場合が多いことが気になります。（60代女性）
- ・ 公共機関の整備について  
私鉄に比べて、JRの場合エレベーターがホームの端にあることが多く、不便です。  
道路上の点字ブロックの占める割合が多いため狭い道路の場合は、ほとんど点字ブロックが占めてしまいデコボコ感が大変歩きにくくなり高齢者などがつまずいたり、自転車がブロックにすべり転倒することがある。又、車いすもガタガタとして移動しにくくなる。道路の中に合わせた点字ブロックを作ること誰にでも安全なものになると思う。ブロックの材質をすべりにくいものにするべきだと思う。（60代女性）
- ・ 健康な時は考えてもみなかったフラットな社会（バリアフリー社会）だったのが2年前脳梗塞を発症で状況は一変した。バリアフリーは元より手摺、階段、エレベーター、エスカレーターのない社会生活など考えられない外出もできない。一気に引きこもりの生活になってしまう。今は交通経路の詳細をパソコンで調べてから安全に行動できる配慮のある所を選んで出かけている。しかし、バスの乗り場の高さが高く乗れない時があるのは困ってしまう。最近ではバスの利用が多くなったが不便が多い又地下鉄は乗り継ぎのため歩く距離が広くて困る。社会を共通にしてもっと楽な乗り継ぎができるようにしてほしい。乗り継ぎの便性を工夫してほしい、バス使用が多いため。現在でもノンステップバスは導入されているが止まる場所によっては効果が出ていない。（80代男性）
- ・ 道路の整備についてですが、現在、車道と境界がない自転車道は子供も大人もそして自動車も、自転車の運転は大変恐怖を感じます。歩道、自転車道、自動車道を完全に分離し車道をいきなり自転車道とするのは子供のいる親としては心配が付きません。よろしく願い致します。（40代女性）

- ・ 駅などで階段を通らないとホームへたどり着けない時がある。エレベーターやエスカレーターの整備をしてほしい（できればすべての出入口で）もし例えば整備されているのが北口のみ の時などは誘導案内をきちんとしてほしい。

優先席付近で困っている人がいても見て見ぬふりもしくは携帯を見ていて周りに気をつかおうともしない人が多い。むしろ一般席の方が譲ってもらえたりする。もっと教育現場でも優先席の意味等を教えてほしい（もちろん大人にももっと理解してほしい）。(30代女性)
- ・ 私がマイノリティなのかかもしれませんが、親も子もないため老親介護や子育ての問題の切実さが実感を持って理解できていません。だからと言って他人事とは済ませたくないのですが、何に取っ掛かりを求めているのかかわからず、具体的行動を起こせずにいます。ハードルの低いところから気軽に始めることができ、少しずつ関わりを深めていけ、かつ地域の役に立てていると実感できるプログラムがあるといいのにと考えます。(40代女性)
- ・ 以前、電車で年寄りに席をゆずったら、沢山の人の前で怒られました。「お前らにゆずってもらうほど困っていない」と。そこから、人を助けることにおびえている自分がいます。(20代男性)
- ・ 私は以前から、街で見かける障害者の方が困っていたらお手伝いしたいと思っておりますが、困っているのか否か、もし困っていたらどう対処したら良いのかわかりません。障害者の方にも気軽に手伝って下さいと言ってもらえたらと思います。私も勇気を出してお困りですか？と声かけをしてみます。小さい頃からもっと心のバリアフリー教育がされ身近に障害者と健常者の交流が当たり前のようにできていたらと思うとこれからの子供たちの教育の大切さを強く感じます。(50代女性)
- ・ 街中に関しては点字ブロック等、車イスなどの方々に対しての配慮は出来ていると思いますが飲食店に関してはまだまだ整備が整っていない所の方が多いので改善した方がいいと思う。(20代男性)
- ・ バリアフリー化よりエレベーター等の整備が進み大変に良い事とは思いますが、なぜかエレベーター等を降りた所に屋根がついていない場所があり雨が降った時は濡れてしまう恐れがあります。傘をさせない弱者は雨の日には家の中にいると言うことでしょうか？またエスカレーターが一方（昇りのみか降りのみ）のみで、意味がないように思います。予算がない内ではがらばっているのは理解できますが、もう少し配慮が必要かと思います。(40代男性)
- ・ 歩道の点字ブロックの上、周りに看板や自転車などの障害物を置くのをやめさせてほしい。継続的に注意喚起や指導をしてほしい。

学校教育で様々な障害者への対応知識をもっと教えてほしい。選挙投票時に投票所にいる選挙管理人の方にもっと障害者への対応方法を教えてほしい。視覚障害者である私が投票時に選挙管理人が介助するが視覚障害者の介助の方法はわかりますかとたずねると、「わかりません」との返答、少し方法を教えて介助されたが、腕を引っぱったり、方行の言葉の誘導なく、怖い思いをしたので改善して欲しい。(60代男性)
- ・ 皆がもっと知ることが大切だと思います。バリアフリー、ユニバーサルデザインなど、理解している人が少ないと思います。例えば、車いすマークの駐車場。車いすを利用している人だけでなく、すべての障害をお持ちの方、妊婦さんなども利用可能だと聞いたことがあります。

しかし、車いすを使っていない人が利用したら、文句を言われたという意見を何度かネットで見ました。知識を深めること、興味を持つことを促進するのも行政の営みに加えていただけたらと思います。私の知らないことがたくさんありますし…。よろしくお願いします。(40代女性)

## 2 子供

- ・ 現在、3人目を出産し、育児休中です。平成30年まで、育休を会社から認められていますが、平成29年4月0才児で保育園へ入園させなければ1才児での入園はむずかしいと言われていています。平成30年までの育休を早期に切り上げ、0才児で入園をさせる（私の希望としてはもう少し長く赤ちゃんと一緒にいたかった）事に矛盾を感じます。3人目の最後の育児、保育園への入園、仕事への復帰を支援してくれる制度にして頂きたいです。あと、マイナンバー制度は失敗でしたね。正直、面倒なだけでした。(30代女性)
- ・ 乳幼児を保育園に預けることが出来ず 困惑している状態です。現在の収入では今後の生活に対して心細い点があり、共働き世帯に住み良い町に移り住む予定にしております。早急な保育園対策を望みます。(30代男性)
- ・ 女性が働きながらも安心して子育てが出来るような環境づくりを促進してください。男も女も長時間労働から解放され、夕食時には子供を囲んでだんらん出来る、ゆとりのある生活があたり前に出来る社会が望ましいと思います。が現実には家庭の仕事は働く女性に負担が重く、男性は不在がち、男女ともに時間に追われ、苦しい生活。子供の教育もままなりません。子供の健やかな成長のためにも安心して暮らせる幸せな家庭が望ましいと思います。公設の保育所、学童保育所が身近にあって利用しやすいこと、人間味あふれる介護施設の増設、福祉施設に働く職員の待遇向上、研修の充実を望みます。(70代女性)
- ・ 男女の均等を想定している世の中と言いながら実態は全然違う。一例を挙げると「男性にも育児を」などと言いながら街へ出ればおむつ交換台が女子トイレにしかない、授乳室にも入れない（入りづらい）という形で男性は育児しないのが普通とされている気がする。外出するときに本当に大変。妻がいない都心への子供との外出は上の理由により非常に不安である。おむつを緊急で1枚2枚入手したい事がありおむつ自販機があるといい。エレベーター台数が少ない為電車のホームから改札までの移動の際距離が遠く時間がかかる。押しボタン式の信号で良いので、住宅街の比較的交通量の多い交差点には設置して欲しい。(30代男性)
- ・ シングルマザーの雇用の年齢範囲が狭いと感じています。若いだけでなく、30代、40代でシングルマザーになった人達にももっと広い範囲での職種があればと思います。子供の医療費を高校生まで引き延ばしてほしいです。(30代女性)

## 3 障害者

- ・ 私には身体の弱い母や知的障害をもった兄がいます。正直、彼／彼女たちは差別の対象となっています。人の考え方は簡単には変えられないので、仕方のないところもあるかもしれませんが、でも、だからこそ行政の理解・サポートが私たちには必要です。なんでも一気に解決する

ことは無理だと思いますが、私たちも健常者と変わらない一人であることを知っていて、その一人のために少しでも今を改善しようと思っていてほしいです。(20代女性)

- ・ 障害という言葉がそうでない人との壁を作ってると思います。障害＝個性と言える世の中になってほしいと思います。出来る人が出来ない人に手を自然とあたりまえのように差しのべるのが普通の社会になる様に、子供のうちからの教育をしていけば、意識は変わると思います。(40代女性)
- ・ 一見して障害者と分かる人は良いが、自分のように外見は普通だがパニック障害などを持っていても健常者と変わらない生活を強いられている人もいます。難しいと思うが、そういった人達へのフォローも忘れないでほしい。(40代男性)

#### 4 高齢者

- ・ 夫婦共働きで昼間不在です。その間親が大便をこすりつけながらはいまわって、起き上がれず、そのままボーっと待っていることがあったりします。ですが、特養は同居がいるためか、順番待ちにもなりません、金持ちは老健に預けるのかもしれませんが、また特養も費用負担が重荷になりそうです。こういう悩みを解消してください。(50代男性)
- ・ 介護離職（及びそれに準ずる状況）の現実社会問題として目を向けていただくことを期待します要介護状態だけが介助介護ではありません。本人の価値観・病气拒否などによって家族が世話をしなくてはならない場合がたまたまあるのが、高齢者問題です。私も私の周りでもこうした介護離職状態の人のケースが社会や経済の担い手が減っています。と感じています。行政に何をしてもらいたいのか答えはありませんが社会の理解を得られるだけでも違います。都に期待しています。(40代男性)
- ・ 親戚が老老介護を行っています。行政サービスを積極的に受けていないようです。自分から情報を探さなくても世帯状況を適格に把握し、必要なアドバイスをしたり、手続きのサポートをするような仕組みがあるといいですね。民生委員だけでは十分ではありません。(30代女性)

#### 5 生活福祉（福祉人材、生活保護、民生委員など）

- ・ 認知症の母の介護を通して、介護士さん達にはとても感謝しております。もっともっと、給与水準を引き上げていただきたい！と強く思っております。(40代女性)
- ・ 実際福祉の現場で働いています。給与が低い事もそうですが、人手が足りず残業も多い。休みも取りづらい、体力・精神的に苦痛を感じる事が多いですが、やりがいもあり、なんとか働いています。私の職場では、そのように感じている方が多いです。施設や設備の充実も、もちろん大切ですが、実際に働いている人々のケアも充実して頂けたら嬉しく思います。よろしくお願い致します。(30代女性)
- ・ 保育士、介護士の給与引き上げ。(50代男性)

- ・ 東京で長く1人暮らしをしています。地域の民生委員に接触したことがありません。高齢化が進むにつれて地域の福祉活動を明確に知らせてほしいものです。(40代女性)
- ・ 老後をむかえ今後の福祉や介護について不安だらけである。地震などの災害時はどこへ逃げれば良いのか〇〇区はきちんと指導すべきです。公園、学校だけでは限界である。(70代男性)

## 6 医療・健康

- ・ 難病の人へのサービスは遅れがち。私自身難病があるが理解が少ない。利用するサービスも少ない。体調が良い時はまだ良いが、不良のときは辛い。もっと利用できるサービスはないのか?と思う。(50代女性)
- ・ 入院状態になった時、負担を少なくなる様に考えて欲しい。(70代女性)
- ・ 屋外にある喫煙所は風に乗ってどこまでも煙が流れてきます。歩きたばこされるよりはマシですが、喫煙所は囲われた室内にしてほしいと思います。ぜんそく持ちなので、かすかなタバコの煙でもとても苦しく、また子供を連れている時も心配です。今後の街づくりで、喫煙所の整備と、歩きタバコや(自転車・バイクでのタバコも)取り締まりを強化して欲しいです。(30代女性)

## 7 福祉保健一般

- ・ 人はいずれ、介護が必要となったり、福祉のお世話になったりと思うので、現在、そういった環境にいる方たちへの理解はしているつもりであるが、常に都民の尊い税金が使われている事を忘れないでほしいと思います。当然の如くと思っている人々もいる事は確かです。周囲への感謝の気持ちを表すことも必要と思います。そうする事でまたお互いに歩み寄れる関係にもなると思います。(60代女性)
- ・ 福祉、介護と言う税金を支払っています。納得ができるような使い方をして下さい。(40代女性)

## 8 都政一般

- ・ 東京都、あるいは各区、地域での格差がかなり有り、その各地域の人々の考え方、経済力等や地域の歴史などがけっこう障害になっている部分がある。(60代女性)
- ・ 東京オリンピックを良いきっかけにその後も福祉及び健康な人も日々、安心して暮せるよう願います。(70代男性)
- ・ 税金の無駄使いが多すぎるので、必要な施策になかなか予算が回らない。民間や国と連携して、効率よく事業を進めてほしい。(40代女性)



- ・ 東京都は日本で最も富福な都市ですが居住環境など著しいアンバランスが目につきます。これは福祉、保健のベースです。都の福祉保健行政を改善、向上させるためには都をいくつかの地域に区分（例えば都下の各区市町村などでバランスのとれたモデル地区を設定し、（ある程度の私権は制限されますが）それを核として全体に及ぼすのが良いと思います。間近に迫っている直下型の大地震・家裁への対応なども考えて、至急に改善、改革を始めるべきと考えます（80代女性）

## 9 本調査に関するもの

- ・ この調査票、もう少しシンプルになりませんか？答えきるまでに時間がかかるので疲れしました。私は現在専業主婦なのでかまいませんが、主人はほぼ毎週週に6回勤務しており、毎日帰りも遅いのでこのアンケートに答え切るのに私以上に疲れを感じている印象を受けました。答える途中で疲れて読む気がなくなれば、正確なアンケート結果も得られないのではないのでしょうか。（20代女性）
- ・ 紙ベースでの調査だけではなくweb上でもできるようにしてほしい、調査協力はするが都度在宅するなど時間をとられるのは少々不快です。（40代女性）
- ・ 自分が実際に高齢者や障害者になってみないといろいろな施設のバリアフリー等にはアンケートに答えるほど気が付きません。また子育てのアンケートも同じです。このアンケートは子育て中の方、高齢者、障害を持つ方の当事者及びその周りの方々に対して行った方が良いです。その点、うちはちょうど不適合でした。アンケートの調査対象を下調べしてから配布した方が有効な解答が得られます。（50代女性）
- ・ こういったアンケートを反映してほしい。アンケートを取るだけにしないでほしい。（30代男性）

## 10 その他

- ・ アンケート参加の機会を与您いただきありがとうございました。人はひとりひとり自己形成により物差しが違います。その物差しをとおして自己も他者も価値評価していることを自覚する教育が大切だと考えています。無自覚的に価値評価していることを自覚する教育は他者を受け止め思いやれる構えが出来ると思います。子供だけでなく大人にも大切なことだと思います。（50代女性）